

事務事業名		生活雑排水汚泥処理事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		環境課		H28係等名		環境保全係		H27係等名		環境保全係	
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
		施策	53	環境汚染の防止							
目的	対象(誰・何を)	下水道利用や合併浄化槽利用をしていない一般家庭(汚泥汲取家庭だけでなく未設置や未管理の家庭を対象とする)		対象指標	指標名及び単位		27年度数値				
	意図(どうい状態にするか)	河川の水質が向上する 簡易浄化槽の適正な維持管理が行われる 下水道区域外への簡易浄化槽の設置が行われる			汲み取り件数		1093				
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市が定める環境目標に向けた改善化率(水質BOD)(%)			汚泥処理量(m ³)		261.5				
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	飯田市が定める環境目標の達成率(水質BOD)(%)			80	100	80	-			
	定性目標	簡易浄化槽の適正な維持管理が行われ、河川の水質が向上される。									
事業概要	<p>生活雑排水汚泥処理事業 河川の水質汚濁防止のため、飯田市環境保全条例に基づき、簡易浄化槽の適正な維持管理啓発を行いつつ、生活雑排水汚泥の運搬・処分を行う事業 市では生活雑排水については処理施設を有していないため、市が事業者へ委託して雑排水汚泥の運搬・処分を行っている なお、皆水洗化された時点において、簡易浄化槽の生活雑排水汚泥処理事業は廃止となる</p>										
事業内容					名称			活動指標			
27年度事業内容	生活雑排水汚泥処理事業				1 啓発回数			1 1回			
	1 適正な維持管理の啓発				2 汲み取り件数			2 1093件			
	2 汚泥の汲み取り				3 汚泥処理量			3 261.5 m ³			
	3 汚泥の適正処理										
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		2,468	2,763	2,144	2,554						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		2,468	2,763	2,144	2,554						
人件費計(千円)②		368		0							
正規職員所要時間		100									
臨時職員所要時間		10									
総事業費①+②		2,836	2,763	2,144	2,554						
事業内容・目標達成状況の振り返り	下水道の普及により、汲み取り件数は減少傾向。簡易浄化槽については、適正な管理が求められていることから、広報で周知を行った。										
改革改善の考え方	①問題点	下水道、合併浄化槽への切り替えにより、対象指標が減ることにより事業費が減少していく性格の事業。									
	②改革提案	下水道、合併浄化槽への切り替えが残った世帯の生活雑排水汚泥処理を適切に行うことにより、河川の水質汚濁防止を図る。									